

85歳以上の高齢総胆管結石患者に対する内視鏡的結石除去の意義に関する研究

1. 研究の対象

2016年4月～2020年3月に当院で総胆管結石に対して内視鏡治療を受けられた方

2. 研究目的・方法

研究の目的は85歳以上の高齢な総胆管結石患者さんにおいて、胆管結石を取り除いた場合とプラスチックでできたステント（内側から広げる管）を留置した治療の場合の胆道合併症等が起こるまでの期間を比較することです。これにより85歳以上の高齢な総胆管結石患者さんに対してどちらの方法が適しているか検討することができます。研究は既にどちらかの治療が行われている患者さんの電子カルテの情報を使用して行います。

研究期間は、病院長承認日から2022年3月31日までです。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：病歴、胆管結石の治療歴、胆管結石治療後の経過や転機 等

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

磐田市立総合病院 消化器内科 金子淳一 tel: 0538-38-5000

研究責任者：

磐田市立総合病院 消化器内科 金子淳一 tel: 0538-38-5000